

■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。平成 30 年 3 月の連合議会で、ゴールデン・スポーツイヤーズを控えたスポーツ観光の推進、文化庁の本格移転を契機とした文化観光の推進、一般財団法人関西観光本部を中心とした推進体制への確立などの内容を盛り込み、計画の改定を行いました。

この新たな計画に基づき、観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西一体となった戦略的な取組を進めています。

現行計画に掲げた将来目標等

- ・ 将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都・関西」としての地位の確立とする
- ・ 数値目標 関西を訪問する外国人客数 1,800 万人(2020 年)を目指すなど

<目標の達成に向けた7つの戦略>

1. 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

国際的なスポーツイベントと連動した誘客の推進、文化プログラムの推進、スポーツ・ツーリズムの推進

2. 文化力の向上と文化観光の推進

「文化首都」としての関西文化の発信、文化庁との連携、文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業の展開など

3. 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (official)」の利便性向上、IoT・ビッグデータなどの新技術の活用など

4. 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

世界水準の広域観光周遊ルートの推進「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開、「KANSAI」の世界への発信など

5. 旅行消費拡大に向けた取組

「モノ消費」「コト消費」を促す情報発信強化、決済環境の変化に対応した整備など

6. 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

旅行者の動向把握等によるマーケットの創出、「関西文化の日」など文化に親しむ機会の充実など

7. 今後のさらなる展開

IR 法等を見据えた観光・MICE の連携、通訳案内士やボランティア等の育成など

○平成 31（令和元）年度予算

「関西観光・文化振興計画」に沿って、特に戦略的に取り組むことについて、当初予算では、105,032 千円を計上しています。

平成 31（令和元）年度分野 主な予算

○ KANSAI ブランドの構築（52,597 千円）

KANSAI 国際観光 YEAR の実施、海外プロモーションの実施、関西観光本部事業、ジオパークの活動の推進 など

○ 基盤整備の推進（21,743 千円）

通訳案内士の人材育成、地域の魅力を活かす地域づくり事業

○ 関西文化の魅力発信（30,282 千円）

関西文化の振興と国内外への魅力発信、世界文化遺産等発信事業、新たな関西文化の振興 など

■平成 31（令和元）年度を取組状況

○KANSAI ブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)ブランドの優位性を確保するため、「関西」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組を展開します。

(1) KANSAI 国際観光 YEAR の実施

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年1つのテーマに絞って発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」を展開しています。

2019 年は、「ゴールデンスポーツイヤーズ」をテーマに、2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック、2021 年のワールドマスターズゲームズに併せ、スポーツによる観光を推進すべく、関西観光本部のホームページに関西のスポーツ観光を特集したページを掲載しています。

<参考> 2013 年「関西の食文化」、2014 年「関西のマンガ・アニメ等」、
2015 年「関西の世界遺産等」、2016 年「関西のスポーツ観光」、
2017 年「食を楽しむ観光」、2018 年「関西の文化観光」

(2) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと海外へのプロモーションをこれまで13回実施し、歴史や文化など関西の多様な魅力を紹介するなど、KANSAIブランドを発信しています。

令和元年度は、スポーツゴールデンイヤーズや、2025大阪・関西万博などにより、日本への関心が高まっている機会を捉え、関西への観光誘客の促進と認知度の向上を図ります。

- ・ 団 長 西脇広域観光・文化担当委員
- ・ 内 容 政府要人・旅行団体等への訪問、観光プロモーション等を実施

関西広域連合トッププロモーションの実績と成果（平成23年度～平成30年度）				
年度	訪問先	日程	参加者	主な内容
23	中国	2011/ 07/20～23	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、フォーラム、観光セミナー
	韓国	2011/ 09/18～20	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
24	韓国	2012/ 8/1	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
	中国	2012/ 09/11～13	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	観光セミナー、レセプション
	シンガポール	2013/ 02/17～19	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー、レセプション
	マレーシア			
25	中国	2013/ 09/13～16	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光展、観光セミナー、レセプション
	香港			
	タイ	2014/ 02/20～21	事務局	旅行博でのPR、政府機関・旅行事業者訪問
26	タイ	2014/ 11/19～21	井戸連合長、山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展・物産展
	マレーシア			
27	フィリピン マレーシア	2015/ 09/18～21	山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	ベトナム	2015/ 11/27～29	井戸連合長、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、テレビ局訪問、観光ブース
28	台湾	2016/ 8/30～9/2	山田委員、滋賀・大阪・奈良・鳥取・徳島の各副知事、田中関西エアポート執行役員ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	香港			
29	オーストラリア	2017/ 4/16～4/23	山田委員、滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・徳島の各知事(副知事)、山谷関西エアポート代表取締役社長ほか	政府関係者・商工団体、航空会社等との会談、レセプション、ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会開会式出席
	ニュージーランド			
30	中国	2018/ 11/25～11/29	西脇委員、大阪・奈良・徳島の各副知事、山谷関西エアポート代表取締役社長ほか	政府関係者との会談、政府関係者及び旅行事業者等への観光セミナー、商談会、レセプション

(3) 関西観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般財団法人関西観光本部が、スポーツ観光や文化観光など関西をアピールする様々な観光プロモーションや、参画団体の個性を活かした関西ならではの連携事業等を展開しており、その費用の一部を負担しています。

〈関西観光本部の主な活動〉

- ・2018年10月に「関西ツーリズムグランドデザイン2021」を策定
- ・関西全体に係るマーケティング基礎データの収集・共有
- ・プラスワントリップキャンペーンの実施：外国人観光客を関西全域に周遊させるため、テーマを定め、そのテーマに強みを持つ特定エリアを一定期間集中して訴求して磨き上げ、認知を高める取組
- ・関西各地のスポーツ観光資源のコンテンツ化
- ・外国人旅行者向けのキャッシュレス支払環境の整備支援
- ・関西広域観光ポータルサイト「The KANSAI Guide」による関西の総合的な観光情報の発信
- ・アジア、欧米豪での旅行博への出展やファムトリップの実施等
- ・KANSAI ONE PASS や、KANSAI (official)の推進、多言語コールセンターの設置、宅配便を活用した手ぶら観光の普及などの環境整備
- ・広域観光周遊ルート「美の伝説」のPRや着地型観光等の新たな観光素材の発掘による魅力向上 など

(4) web による情報発信

より情報の発信力を高めるため、一般財団法人関西観光本部のHPである「The KANSAI Guide」に関西広域連合のWEBを統合し、従来からのSNSも合わせて多言語による情報発信を行っています。

(5) ジオパーク活動の推進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRを実施しています。

令和元年度は、平成30年度に引き続き、「The KANSAI Guide」内でジオパークに関する情報を適切に紹介するコンテンツを作成するとともに、訪日外国人のジオパーク周遊を容易にするため、乗換案内など交通手段に関する情報をスマートフォンで入手できる案内システムの構築を図ります。



○基盤整備の推進

(1) 地域の魅力を活かす地域づくり事業

平成30年度に引き続き、国の地方創生推進交付金事業を活用し、全国通訳案内士や地域通訳案内士、無資格のガイドを対象に研修を行うとともに、昨年度に構築した通訳案内士のマッチングを支援するウェブサイトにおいて、通訳案内士の活躍の場の拡大と就業率の向上及び関西の通訳ガイド全体の質の向上を図ります。

また、昨年度からの継続事業で、国庫補助を活用し、関西各地の文化施設等に関する情報に位置情報アプリを活用して多言語で紹介するシステムの充実を図るとともに、東宝株式会社との連携による、アニメのキャラクターを活用したデジタルスタンプラリー事業を実施し、関西全体への誘客及び観光周遊促進を図ります。

○関西文化の魅力発信

(1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施し、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供しています。令和元年度は11月16日(土)・17日(日)を中心に関西文化の日を実施するとともに、国際博物館会議(ICOM)京都大会開催を記念し、9月にも取組を拡大し、「関西文化の日プラス」として実施します。また、関西文化情報サイト「関西文化.com」により、関西各地の様々な芸術文化情報を幅広く情報を発信しています。



(2) 連携交流による関西文化の一層の向上

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や世界の記憶、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西の多彩な文化の魅力を発信しています。令和元年度は百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産を記念した歴史文化遺産フォーラムを、歴史街道推進協議会、文化庁地域文化創生本部との共催により開催します。



(3) 新たな関西文化の振興

「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西などに向けた取組を検討しています。

令和元年度は、平成30年度に引き続き、関西の文化的魅力を全国にアピールするため、関西ならではの文化・芸能の実演を交えた、「はなやか関西『文化の道』フォーラム」を東京で開催することとしています。

